

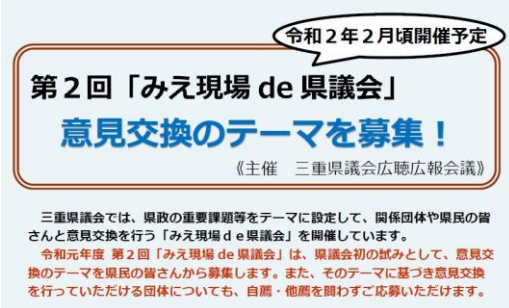



2019年 三重県議会の活動10大ニュース候補（概要）

10大ニュースの候補をリストアップしました。それぞれの内容は以下のとおりです。皆さんの選定の参考にしてください。
～開かれた議会運営の実現～


3月	① 県議会 Facebook ページの運用開始《「いいね」上昇中！》
<p>「開かれた県議会」を推進し、県民の皆さまに県議会の活動について一層のご理解をいただけるよう、3月からSNSサービスの一つである「Facebook」による情報発信を行っています。</p> <p>10月にはページへの「いいね！」が1500を超えました。</p> <p>【Facebookによる情報発信の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会日程、議会中継、議会提供番組のご案内 ・ 議会主催事業のご案内、催し物のご紹介 ・ 議長定例記者会見内容のご紹介など 	
 <p>「いいね」を呼びかける正副議長</p>	


5月	② 県議会新体制発足《決意新たに議会活動をスタート！》
<p>5月に正副議長選挙を行い、議長に中嶋年規議員（自由民主党県議団、志摩市選出）、副議長に北川裕之議員（新政みえ、名張市選出）を選出しました。また、7つの常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会の正副委員長や委員などの選出も行い、県議会の新体制が発足しました。</p> <p>【会派構成（7会派）】</p> <p>新政みえ21人、自由民主党県議団15人、^{そうもろ}草莽6人、自民党5人、公明党2人、日本共産党1人、草の根運動いが1人</p>	
 <p>議長選挙の様子</p>	

10月	③ 第2回「みえ現場 de 県議会」のテーマ等を募集《県議会初の公募！》
<p>「みえ現場de県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が県内各地に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする議会広聴の取組の一つです。</p> <p>令和元年度の第2回目は、県議会初の試みとして、意見交換のテーマや、テーマに基づき意見交換を行っていただける団体を募集しました。（開催は、令和2年2月頃を予定）</p>	
 <p>令和2年2月頃開催予定</p> <p>第2回「みえ現場 de 県議会」 意見交換のテーマを募集！ 《主催 三重県議会広聴広報会議》</p> <p>三重県議会では、県政の重要課題等をテーマに設定して、関係団体や県民の皆さんと意見交換を行う「みえ現場 de 県議会」を開催しています。 令和元年度 第2回「みえ現場 de 県議会」は、県議会初の試みとして、意見交換のテーマを県民の皆さんから募集します。また、そのテーマに基づき意見交換を行っていただける団体についても、自薦・他薦を問わずご応募いただけます。</p> <p>第2回「みえ現場 de 県議会」公募チラシ</p>	

11月	④ 第1回「みえ現場 de 県議会～水産業の振興～」を開催 <small>はいだ</small> 《早田漁港で討論！》
<p>「みえ現場de県議会」は、県議会広聴広報会議の委員等が県内各地に出向き、直接県民の皆さんからご意見をお聞きする議会広聴の取組の一つです。</p> <p>令和元年度の第1回目は、11月7日に尾鷲市早田コミュニティセンターで、「水産業の振興」をテーマに開催しました。当日は、早田漁師塾に関わっている方や漁業の振興に関心のある方々と早田漁港を視察した後、水産業の今後の課題などについて意見交換を行いました。</p>	
	
<p style="text-align: right;">第1回「みえ現場 de 県議会」の様子</p>	

～住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進～

3月	⑤ 4年間の議会活動を検証《次期活動計画にバトンをつなぐ！》
<p>議員任期4年間を見据えた活動を計画的に行っていくため平成27年に策定した「議会活動計画」の計画期間が終了することから、本年3月に「4年間を通した議会活動の評価及び次期改選後議会への提言」を取りまとめました。</p> <p>その中で、4年間の取組を評価するとともに、改選後議会に向けて、引き続き、議会活動計画を策定し、計画的な議会活動の実施・評価を行っていくこと、課題とされた個別項目への対応について検討していくことなどを提言しました。</p>	
	
<p style="text-align: right;">議会改革推進会議総会の様子</p>	

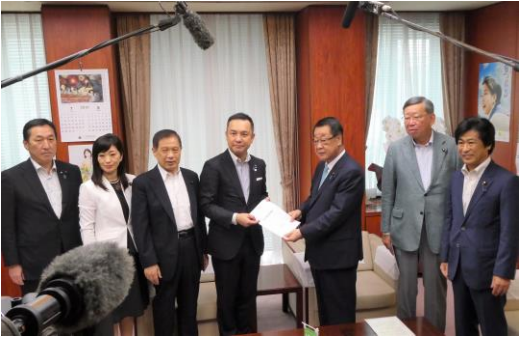
8月	⑥ 「令和元年版成果レポート」に関し申し入れ《全常任委員長から知事へ！》
<p>8月5日に、予算決算常任委員長及び各行政部門別常任委員長から知事に対し、「令和元年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関して、申し入れを行いました。</p> <p>その中で、誰もが安心して暮らすことができる社会づくりに向け、実効性のある取組を展開することや、持続可能な財政基盤の確立をめざし、引き続き財政運営の改革に取り組むことなどを要望しました。</p>	
	
<p style="text-align: right;">知事への申し入れの様子</p>	

9月	⑦ 「三重県議会 議会活動計画」を策定 《今後4年間の取組をあきらかに！》
<p>4月に「三重県議会 議会活動計画」の計画期間が終了したことから、代表者会議からの依頼を受け、議会改革推進会議において、今議員任期4年間の新しい「三重県議会 議会活動計画」の策定に向けた検討を行い、案を作成しました。</p> <p>9月には、代表者会議において新しい「三重県議会 議会活動計画」を決定しました。</p>	



議会改革推進会議総会の様子

9月	⑧ 豚コレラへの対応 《補正予算先議、国への意見書を提出など！》
<p>平成30年9月に、豚コレラが、国内で26年ぶりに発生し、膨大な数の豚が殺処分されるなど、甚大な被害が生じています。</p> <p>県議会では、本年6月に「豚コレラ対策の強化を求める意見書」を全会一致で可決し、国関係機関等へ提出しました。その後、本年7月24日に県内の養豚農場においても豚コレラの発生が確認されたため、本年8月1日には、意見書の項目について、議長から農林水産大臣に対し、直接要望を行いました。</p> <p>また、9月定例会議では、豚コレラ対策に関連する補正予算案について、1日でも早く対策が行えるよう、他の議案に先駆けて議決を行いました。</p> <p>さらに、飼養豚への予防的ワクチン接種が実施されることとなったことを受けて、本年10月には「豚コレラ対策の更なる強化を求める意見書」を全会一致で可決し、国関係機関等へ提出しました。</p>	



農林水産大臣に直接要望

11月	⑨ 「みえ県民力ビジョン・第三次行動計画」等に関し申し入れ 《正副議長等から知事へ！》
<p>11月1日に、正副議長及び7つの常任委員長から知事に対し、「みえ県民力ビジョン・第三次行動計画」（仮称）中間案及び次期の「三重県行財政改革取組」（素案）に関する申し入れを行いました。</p> <p>議長から総括的事項の申し入れを、各常任委員長からは所管する施策等について委員会での議論を踏まえ、最終案等に向けての意見交換を行いました。</p>	



知事への申し入れの様子

～独自の政策提言と政策立案の強化～

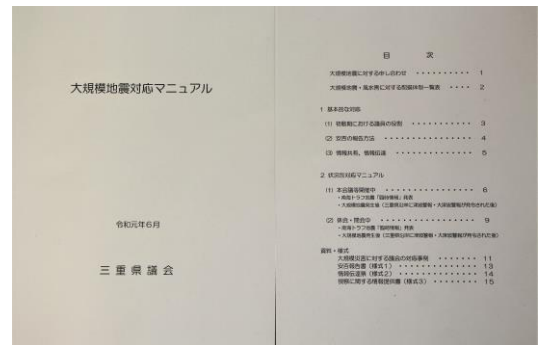
5月	⑩ 「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置 《参考人招致などにより精力的に調査！》
<p>「出入国管理及び難民認定法」の改正による新たな在留資格の創設等により、外国人労働者のさらなる増加が予想されることを受け、5月に「外国人労働者支援調査特別委員会」を設置しました。</p> <p>委員会では、外国人労働者も含めた三重県で暮らす全ての人が、安心して働き、生活することができるよう、日本語教育の支援、三重県多文化共生総合相談ワンストップセンターの在り方、外国人労働者に対する企業等の関わりなどについて、現状を把握し、どのような支援が必要なのか調査していくこととしています。6月、8月、10月に参考人招致を実施するなど、精力的に調査を続けています。</p>	



外国人労働者支援調査特別委員会の様子

6月 ⑪ 「大規模地震対応マニュアル」の改訂《大規模災害時の議員の行動等を明示！》

平成30年6月、近年の大規模災害の発生等に鑑み、三重県議会基本条例において議会における大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する規定を整備するとともに、本年3月に、「大規模な災害その他の緊急事態への対応に関する三重県議会指針」等を策定しました。これらを受けて、国や県当局の当面の防災対応等も踏まえ、本年6月、大規模地震対応マニュアルの改訂を行いました。改訂されたマニュアルは、主に、災害発生後72時間の初期期の対応に重点を置いたものとなっています。



大規模地震対応マニュアル抜粋

6月、7月 ⑫ 「議員勉強会」を2回開催《テーマはSDGsとSociety5.0！》

令和元年度に策定予定の「みえ県民力ビジョン・第三次行動計画」の調査・審議にあたり、特に重要な視点となるSDGsとSociety5.0をテーマに選定し、6月、7月に「議員勉強会」を開催しました。

全議員を対象に、専門家にご講演いただき、議員間における共通認識の醸成と更なる理解の向上を図りました。



議員勉強会の様子

～分権時代を切り開く交流・連携の推進～

7月 ⑬ 紀伊半島三県議会交流会議を開催《共通課題について国へ要望！》

7月26日に、奈良県橿原市において、奈良県、和歌山県、三重県の三県議会による、第13回紀伊半島三県議会交流会議が開催されました。

会議では、「医師確保に向けた取り組み」と「紀伊半島における道路ネットワークの整備促進」について、意見交換が行われました。その結果、必要となる財源の確保等について三県が連携し、国に対して要望していくことが合意されました。



紀伊半島三県議会交流会議の様子

8月	⑭ 議会活力度調査で全国第1位《議会活動の取組が評価！》
----	------------------------------

8月に、日本経済新聞産業地域研究所が47都道府県を対象に実施した議会活力度調査のランキングで、三重県議会が総合順位で第1位となりました。

分野別では、「議会運営」で1位となり、議会基本条例を都道府県で初めて制定したこと、県政の重要課題について県民や関係団体と意見交換する「みえ現場 de 県議会」、学校へ講師として議員が出向く「出前講座」、高校生が県議会を体験する「高校生県議会」の開催などの取組が評価されました。



議会活力度調査結果を示す正副議長

～議員報酬、政務活動費及び選挙など～

5月	⑮ 議員報酬及び政務活動費削減を開始 《議員報酬月額10%、政務活動費30%減額！》
----	---

平成30年7月に、議会改革推進会議の下に「議会経費削減に関する検討プロジェクト会議」を設置し、10名の議員で議会経費の削減について検討を行い、本年2月に、令和元年5月から令和5年4月までの間、議員報酬を月額10%、政務活動費の交付額を30%減額する、との検討結果報告を取りまとめました。

この検討結果に基づき、本年3月に議員報酬および政務活動費を4年間削減する関係条例の改正が行われ、同年5月より削減が始まりました。



議会経費削減に関する検討プロジェクト会議からの検討結果報告

6月	⑩ 「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置 《外部有識者による調査をスタート！》
----	--

6月に、三重県議会における選挙区及び定数の在り方について調査するため、「選挙区及び定数に関する在り方調査会」を設置しました。

大学教授など外部の有識者8名を委員として、「人口減少・地方創生時代における県議会の在り方や果たすべき役割」とそれらを踏まえた「三重県議会の議員の定数及び選挙区の在り方」についての調査・報告を求めることとし、調査が進められています。



選挙区及び定数に関する在り方調査会の様子

～その他～

1月、10月	⑪ ボッチャ及びSSピンポンの議員体験会を開催 《三重とこわか大会に向けてPR！》
--------	--

2021年の三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた機運の醸成を図るとともに、議員の障がい者スポーツに対する一層の理解促進を目的として、三重とこわか大会から正式種目となり、誰でも楽しめる競技として注目されているボッチャの議員体験会を本年1月に、また、同大会のデモンストレーション種目となり、子どもから高齢者まで楽しめる生涯スポーツとして注目されているSSピンポンの議員体験会を本年10月に開催しました。



SSピンポン議員体験会の様子

9月

⑱ インターンシップ実習生を受入れ《県議会の広聴広報について提言！》

議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、大学院で公共政策に関連する研究を行っている学生を毎年インターンシップ実習生として受け入れています。

令和元年度は、9月に三重大学大学院の学生を実習生として受け入れました。実習生は、9日間に渡り、県議会や県議会議員の役割等について学び、実習の成果を発表する報告会では、議会に対し、「議会改革と広聴広報」というテーマでみえ現場 de 県議会のスケールアップという政策提言をしました。



インターンシップ実習生報告会の様子